

議員提出第2号

子どもの医療費助成制度の創設を求める意見書

吉川市議会会議規則第13条の規定により、上記意見書を別紙のとおり提出する。

平成27年3月30日

提出者 吉川市議会議員 高野 昇

賛成者 吉川市議会議員 安田 真也

” 佐藤 清治

吉川市議会議長 松崎 誠 様

提案理由 口頭

子どもの医療費助成制度の創設を求める意見書

少子化が大きな社会問題となっている我が国において、子育てする親たちを支援していくことが強く求められている。

子どもは病気にかかりやすく、抵抗力が弱いため重症化することも多い。病気の早期発見・早期治療を支える環境整備とともに、子どもの医療費の心配をなくすことが、子育て支援として重要である。

子どもの医療費助成制度は、既に各自治体で行われている。しかし、自治体の財政状況などにより助成内容の格差が生まれているのが現状である。どこに住んでいても等しく医療を受けられるよう国の制度の創設が急がれている。

国が子どもの医療費助成制度を設けることで、すべての子育て世帯の医療費負担を軽減でき、さらに各自治体は、それに上乗せする形で独自の医療費助成制度を実施することが可能になる。

よって、政府に対し、子どもたちの健やかな成長を保障し、保護者の医療費の負担を軽減するために、国の制度として子どもの医療費助成制度を早急に創設するよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成27年3月30日

埼玉県吉川市議会

提出先

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

厚生労働大臣

財務大臣

内閣府特命担当大臣（少子化対策）